

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

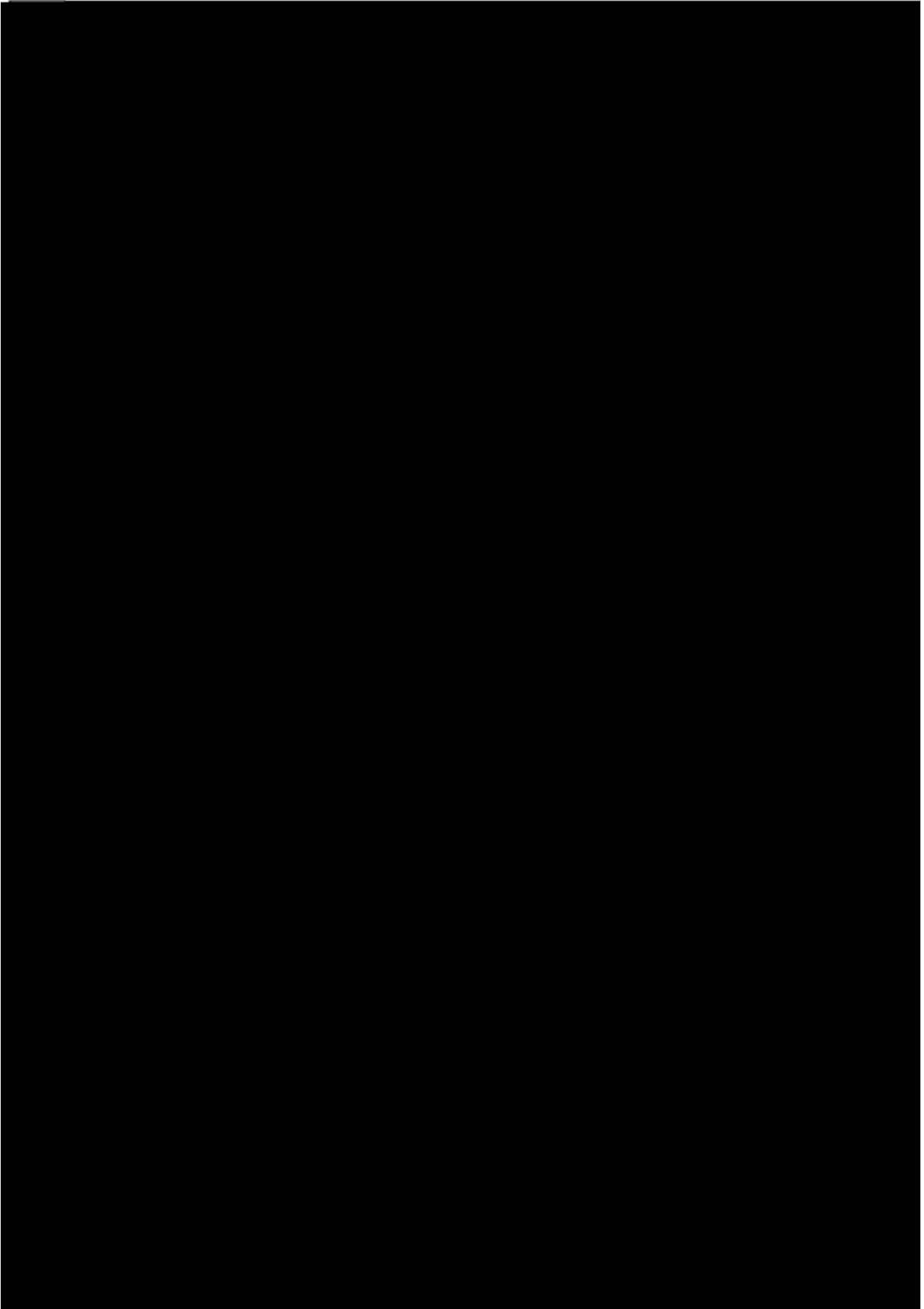
(1) 連結経営指標等

2【沿革】



[事業系統図]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。



E05317)

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

当連結会計年度における当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。

詳細は、「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

経営成績の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対するワクチン接種普及等により、一部経済回復の動きもありましたが、冬場以降、感染が再拡大する等依然として先行き不透明な状況が続いています。

財政状態の状況

(資産)

財政状態につきましては、当連結会計年度末における流動資産は7,709,841千円となり、前連結会計年度末に比べ

生産、受注及び販売の実績
a . 生産実績

E05317)

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

--	--

2 【自己株式の取得等の状況】

(4) 【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

4【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社の 茶 襪 満 轄

監査報酬の内容等

a . 監査公認会計士等に対する報酬の内容

第5【経理の状況】

1 連結財務諸表及び財務諸表の作成方法について

(1) 当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号。)に基づいて作成しております。

(2) 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下E05317)

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

E05317)

[Redacted text block containing six lines of obscured content]

【注記事項】

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

建物（附属設備を除く）、神戸研究所動物飼育施設及び一部の連結子会社の資産については定額法、その他については定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物 15～38年

機械装置及び運搬具 3～17年

工具、器具及び備品 4～15年

E05317)

E05317)

(連結貸借対照表関係)

1 受取手形及び売掛金のうち、顧客との契約から生じた債権の金額は、それぞれ次のとおりであります。

当連結会計年度
(2022年3月31日)

受取手形	28,944千円
売掛金	862,219

2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

6 減損損失

前連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

当連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失（千円）
静岡県磐田市	事業用資産	工具、器具及び備品	

2 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

(リース取引関係)

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

外貨建の営業債権債務については、通貨別月別に把握された為替の変動リスクに対して、重要なものについて先物為替予約を利用する方針であります。

有価証券及び投資有価証券については、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握し、ま

当連結会計年度(2022年3月31日)

(有価証券関係)

1 その他有価証券

(退職給付関係)

1 採用している退職給付制度の概要

一部の連結子会社は、退職一時金制度を採用しております。また、中小企業退職金共済制度に加入しております。
なお、当該連結子会社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2 簡便法を適用した確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付に係る負債の期首残高と期末残高の調整表

(単位：千円)

前連結会計年度

(ストック・オプション等関係)

- 1 スtock・オプションに係る費用計上額及び科目名
該当事項はありません。

- 2 スtock・オプションの内容、規模及びその変動状況
(1)ストック・オプションの内容

|

当連結会計年度（2022年3月31日）

--	--	--	--	--

(企業結合等関係)

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年12月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ジェネティックラボの全株式

(収益認識関係)

(1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

--	--	--	--

E05317)

【関連当事者情報】

1. 関連当事者との取引

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2022年4月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを以下のとおり決議し、実施いたしました。

1. 自己株式を消却する理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を目的として、自己株式の消却を実施することといたしました。

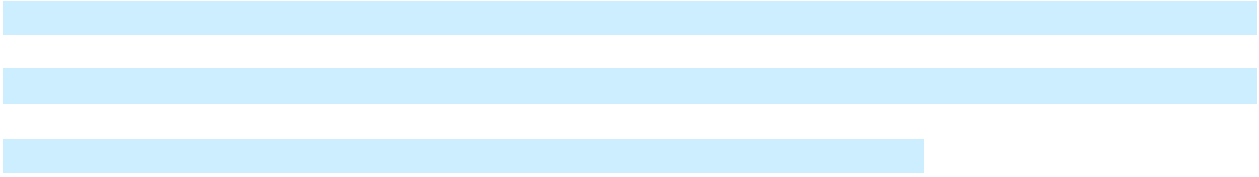
2. 自己株式の消却内容

E05317)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

E05317)



【株主資本等変動計算書】

(貸借対照表関係)

1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
建物	439,288千円	- 千円
構築物	6,811	-
土地	585,778	-
計	1,031,878	-

前事業年度末における未払金は、当期において全額返済したため、上記の担保は全て解除されております。

担保付債務は、次のとおりであります。

前事業年度 (2021年3月31日)	剩 益 齒 齦 茗 苧 燹
-----------------------	---------------

E05317)

E05317)

第7【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

当社には、親会社等はありません。

2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出有期 旺銃帽ん。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

E05317)

E05317)

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示